

# 安全・適正就業だより

☆☆☆☆事故防止、急ぐな、あせるな、気をめくな（全国統一スローガン）☆☆☆☆

**明けましておめでとうございます。** 安全・適正就業委員会委員長 清川秀幸



会員の皆様におかれましては、健やかな新年を迎えたことと思い、心よりお慶び申し上げます。

さて、普段より安全・適正委員会の活動に深いご理解とご協力を頂き有り難うございます。お陰さまで、前年度より事故が減少傾向にあり、特に草刈り機を使つての事故は激減しています。これは、一人ひとりの会員が安全意識を持って事故を起こさないように注意していることの証しです。当委員会は、秩父市シルバー人材センターから事故を無くし、安全で安心して就業できるセンターを目標にして活動しています。しかし、事故を減らせるのは会員の皆様です。お互いに助け合い協力し合つて事故を無くしましょう。また、この時期は、路面凍結があるので就業の行き帰りには交通事故に注意しましょう。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

## 巡回視察報告 事故0を目指して

○12月5日、秩父市吉田の切り干しいも製造工場（吉田高齢者生産活動センター）を視察しました。男1名女6名の会員さんが就業していました。芋は全て秩父産「たまゆたか」を使用している。芋を洗ってふかし、大きいものはカットし乾燥させて製品になるまで約四日間かかるとのことでした。一斉に休憩時間が取れていた。特に危険と思われる作業がなく安全に行われていた。



←芋のカット

芋の乾燥準備→

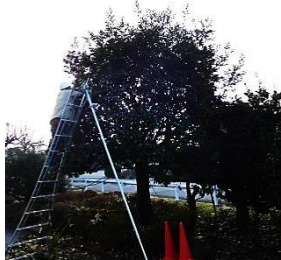


○12月5日、除草班（駐車場草刈りを含む）の作業を視察しました。男3名女3名の会員さんが就業していました。現場は、周囲に家がある市内の駐車場で、手作業（草むしり）と草刈り機を使用する作業でした。ネットを張つて小石飛散防止を行っていました。特に、街中で機械を使用する場合、騒音に気を遣うと言っていました。



○12月5日、植木班の剪定作業を視察しました。男5名の会員さんが就業していました。前日、秩父市下水処理センターで行われた植木班剪定講習会後の作業で、きれいに剪定された植木のある中、残つた木の剪定を行っていました。松の木の葉

を痛めないための、鉋の入れ方などについての専門的な話をしていました。安全に注意した作業が行われていました。植木班は例年この講習会を行って会員の技術の向上を図っています。



## 事故報告

- 1 1月23日、秩父市内で草刈り機を使つての作業中に、小石を飛散させ車のフロントガラスに小さな傷をつけた事故が発生しました。飛散防止ネットは張ってなかった。
- 1 1月28日、秩父市内公衆トイレの清掃作業を終了して、次の場所に行こうと車を発進させた際に、後ろから走ってきた来た車と接触した。幸い、人身事故には至らなかったが、重篤事故にもつながる事故です。車を停車する時、発車する時の合図は必ず、そして正確に行うことが大切です。(環境班)
- 1 2月6日、秩父市内の個人宅で植木剪定作業中、誤って光ケーブルの引き込み線を切断する事故がありました。

この3件の事故は、①防止ネットを張っていれば②車を発車する時、もう少し発車の合図と後方確認をしていれば③事前に作業場所を確認し線にテープを張って目印をしておけば防げた事故です。

国を代表した偉い人が、世の中に坂は、上り坂と下り坂の二つしかないと思っていたら三つあると・・・、この二つの他に「まさか」という坂があったと言っていました。後で、「まさか、石が飛ぶとは思わなかった」、「まさか、後ろから車が来るとは思わなかった」という事にならないように、十分に注意して就業しましょう。

## テレビのニュースから

**○あいさつは 気遣いの第一歩      ○みんなでつくる 向こう3軒 両どなり**  
**○友は宝なり**

これは、ある団地自治会活動のモットーだそうです。かつては賑やかだった団地も今は高齢者ばかりとなり、隣人がお互いに助け合っていかななくては生活ができなくなってきたということでしょうか・・・

急速に地域の高齢化が進んでいる今、ごく近い将来どこの地域にもやってきます。シルバーは、「自主・自立・共働・共助」の基本理念を基に、社会貢献を一つの目標にして活動しています。楽しく就業しながら仲間をつくり、お互いに助け合い協力し合って、積極的に社会に貢献していきましょう。(一部再掲)

秩父市野坂町1-13-14  
秩父市シルバー人材センター

電話 0494-22-4454  
安全・適正就業委員会

